

●沿線市町「財政支援せず」(10/03 18:54)

十和田観光電鉄に対する財政支援について、十和田市などの沿線自治体は要請通りの支援はできないと回答した。鉄道路線の廃止は避けられない状況となった。

十和田観光電鉄に対する財政支援を巡って十和田市では市議会の全員協議会が開かれ、小山田市長が「要請通りの支援はできない」と表明した。

十和田観光電鉄は赤字が続く鉄道事業を維持するため、十和田市と三沢市、六戸町に今後10年間で5億円を超える支援を求めている。

小山田市長は「利用者が激減している鉄道事業に将来展望は見出せない」などと述べて理解を求めた。

このあと小山田市長は三沢市や六戸町と最終協議を行い、十和田観光電鉄に回答した。

十和田観光電鉄は支援なしに鉄道は維持できないとしており、路線の廃止は避けられない状況。

十和田観光電鉄の鉄道路線は利用者の8割を高校生が占めている。

小山田市長は鉄道が廃止された場合、バスによる通学の足の確保を十和田観光電鉄に強く求めていく考え。

十和田観光電鉄は今年11日以降に鉄道を存続するか、廃止するか発表する。

